ONKYO®

INTEC

COMPONENT WORLD

USBデジタルオーディオプロセッサー

UE-205

取扱説明書

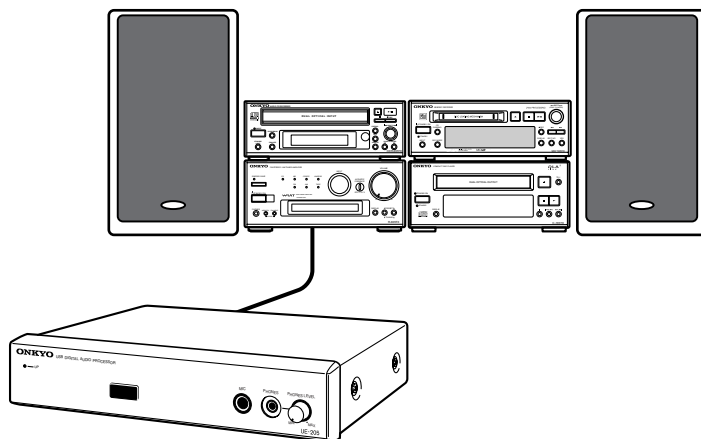
お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

目　次

特長

本機は、パソコンサウンドを、本格的な音質でお楽しみいただけるデジタルオーディオプロセッサーです。本機がパソコンとオーディオ機器を仲介して、フレキシブルな再生/録音を可能にします。
本機をオンキヨー製INTEC205TXシリーズと組み合わせ、パソコンの音楽ファイルをオーディオ品質で楽しむことができます。またパソコンの音楽ファイルをMDに録音することもできます。

■ USBと多彩な入出力端子を装備して、パソコンとオーディオの世界をつなぎます

■ ノイズを徹底的に低減する、独自のオーディオ回路設計

用語解説

USB (Universal Serial Bus)とは?
低中速の通信に適した、パソコンのインターフェイス規格の一種です。最大127台の周辺機器を接続可能で、プラグ&プレイに対応しています。

下記の注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- CarryOn Musicの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。
- DigiOnの名称およびロゴは株式会社デジオンの商標です。
- 本書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。

目次

オーディオ機器の正しい使い方

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

コンセントから
抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにUSBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店または当社カスタマーセンターに修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対に外さないでください。内部の点検・整備・修理は販売店または当社カスタマーセンターに依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- ACアダプターをお使いになる場合は、表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に水や異物が入ったら

コンセントから
抜いてください

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにUSBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、販売店または当社カスタマーセンターにご連絡ください。

⚠警告

■ ACアダプターのコードを傷つけたり、加工しない

● ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社カスタマーセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものを載せてしまうことがあります。

● ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

コンセントから
抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店または当社カスタマーセンターにご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、製品本体やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台や、ぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は、指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 本機に乗ったり、ふんだりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ ACアダプターをお使いの場合の注意

- ACアダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、ACアダプターを持って抜いてください。
- ACアダプターのコードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

コンセントから
抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、USBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■点検・工事について

コンセントから
抜いてください

- お手入れの際は、安全のためUSBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店または当社カスタマーセンターにご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

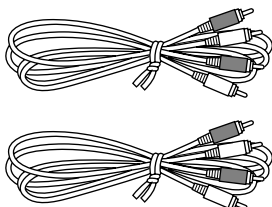
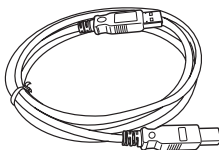
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

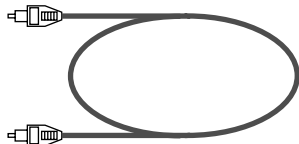
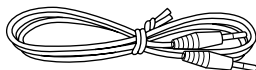
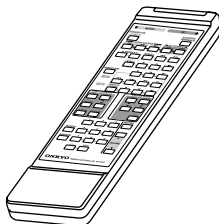
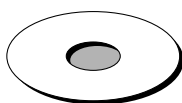
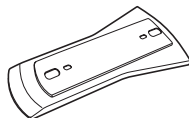
- 表面の汚れは、中性洗剤を薄めた液に布を浸し、固く絞って拭き取った後、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

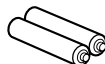
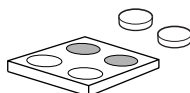
付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。

（　）内の数字は数量を表しています。

オーディオ用ピンコード（2）

USBケーブル（1）

本機の電源はUSBケーブルを通してパソコンから供給されます。ACアダプターは付属されません。

光デジタルケーブル（1）

RIケーブル（1）

リモコン（1）

CD-ROM（1）

スタンド（1）

スタンド取り付け用ネジ（2）

単三乾電池（2）

ソコアシ（4）

取扱説明書［本書］（1）
CarryOn Music取扱説明書（1）
保証書（1）

付属CD-ROMを開封される前に

本製品に含まれているソフトウェアを開封される前に必ずお読みください。

本製品に含まれているソフトウェアを開封されると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「CarryOn Music」ライセンス数1）、フォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様がおこなったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

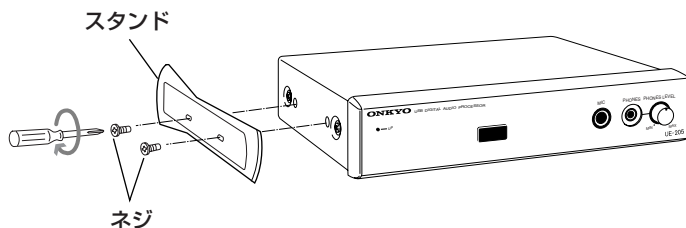
1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

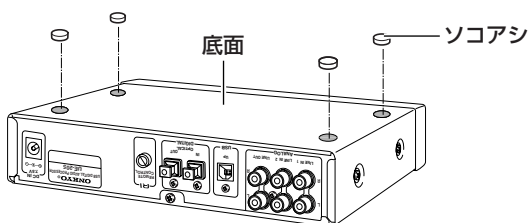
本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

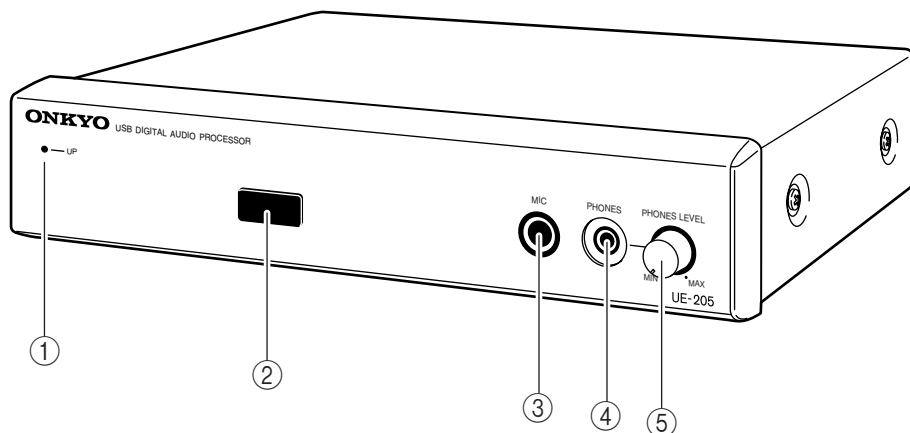
付属品の取り付け

スタンドの使い方

本機を立ててお使いになりたいときは、付属のスタンドを取り付けてください。カバーの向かって左側にスタンド取り付け用の穴があいています。スタンドを本機に添わせて、ネジで固定してください。

※ スタンドは、幅の広い方を前へもってきても構いません。

ソコアシの使い方

本機を横置きでお使いになるときは、本機底面のくぼみにソコアシを貼りつけてください。

各部の名称

前面

① **動作確認インジケーター（UP）**
本機が動作中のときは点灯します。USBケーブルが接続されていないときや、パソコンの電源が切れているときは消灯します。

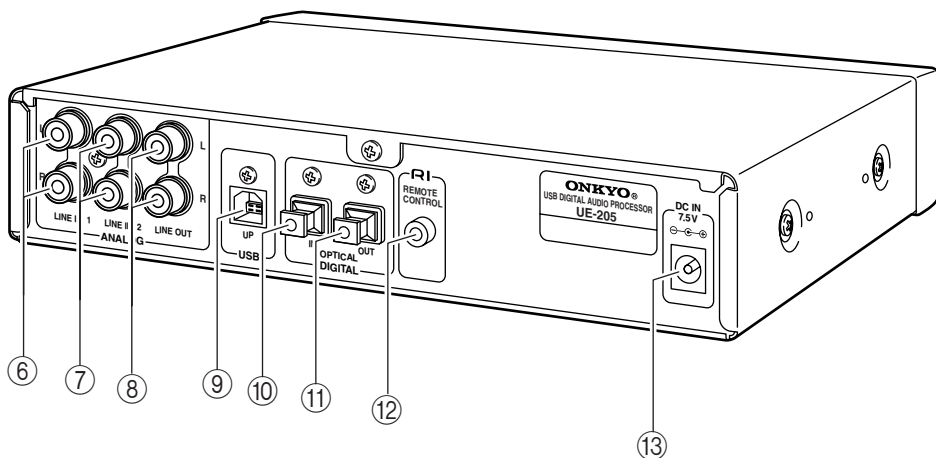
② **リモコン受光部**

③ **マイク入力端子（MIC）**
標準プラグのモノラルマイクを接続します。接続するときは、スピーカーの音量を下げてから行なってください。

④ **ヘッドホン端子（PHONES）**
ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。接続するときは、スピーカーの音量を下げてから行なってください。

⑤ **ヘッドホンレベル調節つまみ（PHONES LEVEL）**
ヘッドホンの音量を調節します。

♪ **音のエチケット**
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

後面

⑥ ライン1入力端子
（ANALOG LINE IN 1）

⑦ ライン2入力端子
（ANALOG LINE IN 2）

⑧ ライン出力端子
（ANALOG LINE OUT）

⑨ USB端子［アップポート］
（USB UP）

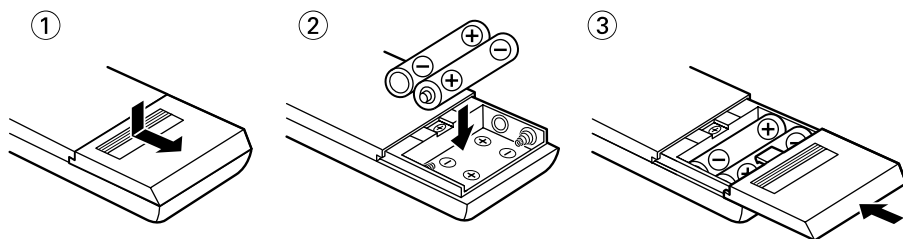
⑩ デジタル光入力端子
（DIGITAL OPTICAL IN）

⑪ デジタル光出力端子
（DIGITAL OPTICAL OUT）

⑫ RI端子
（REMOTE CONTROL）

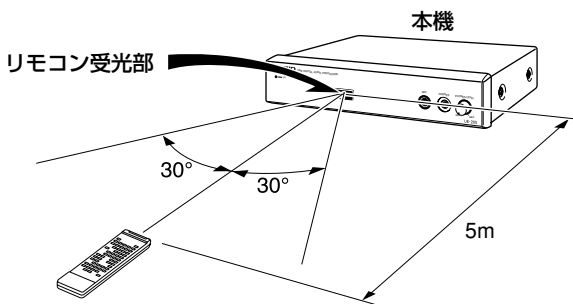
⑬ DC IN端子（DC IN 7.5V）
パソコンからの電源供給が充分でないときは、別売の専用ACアダプター（型番：AD-0002）を接続します。詳しくは、43ページ記載の当社カスタマーセンターにお問い合わせください。

リモコン

乾電池の入れかたと交換のしかた

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

ご注意

- 電池の極性（⊕、⊖）は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

リモコンの使い方

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

本機とINTEC205TXシリーズをRI接続し、パソコンの設定をすると、下記ボタンでデジタルオーディオソフトウェアCarryOn Music（キャリオン・ミュージック）のDISK・CDプレーヤーを操作することができます。➔17～29ページ

CarryOn Music操作ボタン（OPEN/CLOSE）

CarryOn Musicの操作パネルを最小化または元のサイズにします。

ミュージックライブラリボタン (DISK CATEGORY)

- **ALL**：ミュージックライブラリの曲を全て選択します。
- **ARTIST**：ミュージックライブラリの曲をアーティスト別に表示します。
- **ALBUM**：ミュージックライブラリの曲をアルバム別に表示します。
- **LIST▲/▼**：アーティスト、アルバム、またはプレイリストを選択します。
- **PLAYLIST**：プレイリスト表示に切り換えます。

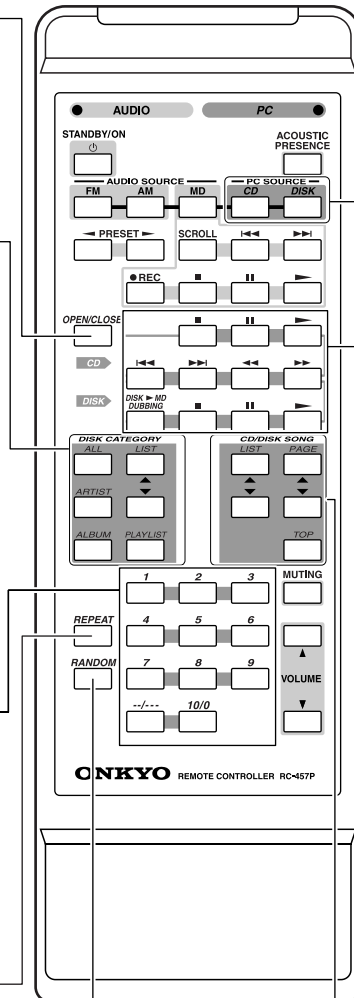
数字ボタン

CD、DISKプレーヤーのダイレクト選曲に使います。
11曲目以上の曲を選ぶときは、「--/---」ボタンを押してから、10の位、1の位の順に数字ボタンを押します。100曲以上の場合は、「--/---」ボタンを2度押してから、100の位、10の位、1の位の順に押します。

リピート演奏ボタン (REPEAT)

演奏を繰り返します。

ランダム演奏ボタン (RANDOM)

曲をランダムに演奏します。

PCソース切り換えボタン (PC SOURCE)

CarryOn Musicの操作パネルをCDまたはDISKプレーヤーに切り換えます。

CD/DISKプレーヤー操作ボタン

CD

- ■：CDの再生を停止します。
- ❚❚：CDの再生を一時停止します。
- ►：CDの再生を始めます。

CD DISK

- ⏮：CD/DISKで、演奏中の曲または、前の曲の頭出しをします。
- ⏭：CD/DISKで、次の曲の頭出しをします。
- ◄◄：CD/DISKで、再生中の曲の巻き戻しをします。
- ►►：CD/DISKで、再生中の曲の早送りをします。

DISK

- DISK ► MD DUBBING：DISK再生時は、再生中の1曲を巻き戻し、MDレコーダーに録音します。DISK停止時は、選択中のGROUP内の選択曲から終わりまでをMDレコーダーに録音します。
- ■：DISKの再生を停止します。
- ❚❚：DISKの再生を一時停止します。
- ►：DISKの再生を始めます。

ソングリスト選択ボタン (CD/DISK SONG)

- **LIST**：ソングリストの曲を選択します。
- **PAGE**：ソングリストのページを切り換えます。
- **TOP**：現在のソングリストの1レコード目を選択します。

リモコン

このリモコンでINTEC205TXシリーズの下記操作をすることができます。
リモコンをINTEC205TXシリーズ各機器のリモコン受光部に向けて、各操作をしてください。

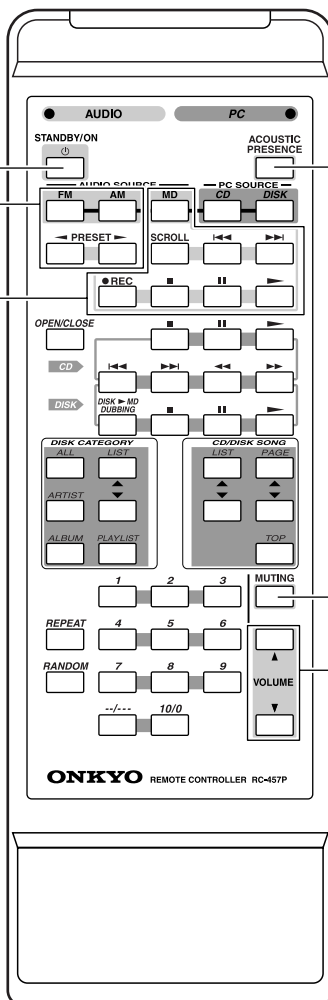
電源ボタン
(STANDBY/ON)

電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

チューナー操作ボタン

FM　：FM放送を選びます。
AM　：AM放送を選びます。
PRESET　：プリセットされた放送局を選びます。

MDレコーダー操作ボタン

MD　：アンプまたはレシーバーの入力をMDに切り換えます。
SCROLL　：表示が長いとき、右から左へ移動表示させます。
■　：再生・録音を止めます。
❚❚　：再生・録音を一時停止します。
►　：再生・録音（録音一時停止から）を始めます。
►►❘　：次の曲の頭出しをします。
❘◄◄　：再生中の曲または前の曲の頭出しをします。
●REC　：録音するときに録音待機状態にします。

アコースティックプレゼンスボタン
(ACOUSTIC PRESENCE)

アンプまたはレシーバーのアコースティックプレゼンスを切り換えます。

ミューティングボタン
(MUTING)

音量を小さくします。

音量調整ボタン
(VOLUME ▲/▼)

音量を調整します。

接続

本機と、お手持ちのINTEC205TXシリーズを組み合わせることで、多彩な録音/再生が可能になります。

こんなことができます

- **パソコンの音楽ファイルや音楽CDを、INTEC205TXシリーズで聞く**
- **パソコンの音楽ファイルを、INTEC205TXシリーズのMDに録音する**
  音楽ファイルをプレーヤーソフトで再生し、MDに録音します。
- **INTEC205TXシリーズでCDを再生して、パソコンに録音する**
  CDを再生し、サウンド編集ソフトでパソコンに録音します。
  録音した曲に、サウンド編集ソフトでエフェクト（音質効果）をかけることができます。

本機とパソコンを接続する場合に必要なシステム構成

- USB端子を持つIntel Pentium II 233MHz以上のパソコン（推奨Intel Pentium III 450MHz以上）
- 60MB以上のハードディスク空き容量
- 64MB以上のRAM（推奨128MB以上）
- CD-ROMドライブ（または相当品）
- Windows 98/98SE/Me/2000
- Intel製USBホストコントローラ推奨

下記手順にて、本機をご利用ください

① **本機とパソコンおよびINTEC205TXシリーズとの接続が正しく完了していることを確認してください**
➔18〜20ページ

② **接続したパソコンの設定をしてください**
➔21〜24ページ

③ **サウンド編集ソフトをパソコンにインストールしてください**
➔別冊CarryOn Music取扱説明書

④ **お好みに応じて音楽CDや音声ファイルを、録音・再生してください**
➔25〜35ページ、別冊CarryOn Music取扱説明書

必要動作環境を満たすパソコンであっても、パソコン固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機の動作が正常に行なわれない場合があります。
本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は43ページ記載のホームページにてご確認ください。

オンキヨー製INTEC205TXシリーズと接続する

例えばINTEC205TXシリーズのR-805TX（チューナーアンプ）、MD-105TX（MDレコーダー）などと接続する場合

■ チューナーアンプとの接続

① 本機のLINE IN 1端子（またはLINE IN 2端子）とR-805TXのCDR/PC OUT端子を接続する

② 本機のLINE OUT端子とR-805TXのCDR/PC IN端子を接続する

■ MDレコーダーとの接続

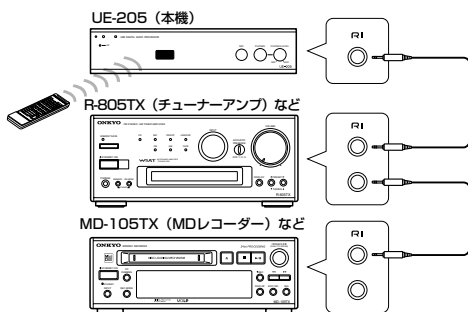
③ 本機のOPTICAL OUT端子とMD-105TXのDIGITAL INPUT OPTICAL 2端子を接続する

■ RIケーブルの接続

④ 本機のRI端子とR-805TXのRI端子、R-805TXのRI端子とMD-105TXのRI端子を接続する

RI（リモート）端子付きオンキヨー製品でシステムアップした場合、システム機能を使うことができます。

- 操作は本機に付属のリモコンを使用します。
- 本機のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

接続例

ご注意

- RI端子はRI端子付きオンキヨー製品と組み合わせた場合のみ使用できます。RI端子付きオンキヨー製品以外とは接続しないでください。
- RI端子の2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

■ 接続図

UE-205

LINE IN 1　LINE IN 2　LINE OUT
ANALOG
USB
IN　OUT
OPTICAL
DIGITAL
REMOTE CONTROL
DC IN 7.5V

③　RIケーブル　④

オーディオ用ピンコード　①　②

R-805TX（チューナーアンプ）や、A-905TX（アンプ）など

CDR/PC　OUT　IN　(REC)　(PLAY)
CD　MD　OUT　IN　(REC)　(PLAY)　LINE/DVD　PROCESSOR
REMOTE CONTROL
SPEAKERS
ANTENNA　AM　FM 75Ω

RIケーブル

オーディオ用ピンコード

光デジタルケーブル

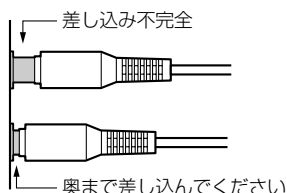
MD-105TX（MDレコーダー）など

ANALOG
INPUT (REC)　OUTPUT (PLAY)
REMOTE CONTROL
DIGITAL INPUT
OPTICAL　1　2

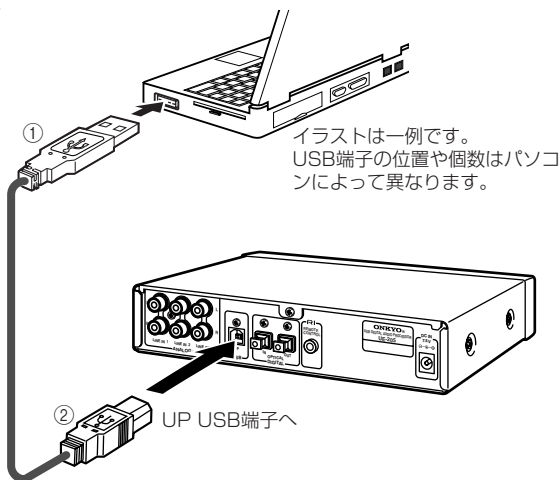
ご注意

- すべての接続が終わってから電源を入れてください。
- オーディオ用ピンコードは赤いプラグをR側に、白いプラグをL側に接続してください。
- コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。接続が不完全だと雑音や動作不良の原因となります。

- デジタル端子の接続は、オーディオ用光デジタルケーブルを使用してください。

接続

パソコンと接続する

① 付属のUSBケーブルのAタイプのプラグ（▭）を、パソコンに接続する

② Bタイプのプラグ（◻）を、本機のUSB端子に接続する

パソコン側にUSB端子が2つ以上あるときは、どの端子に接続しても構いません。

ご注意

- USBケーブルを抜き差しするときは、接続しているオーディオ機器（INTEC205TXシリーズ、アンプ内蔵スピーカーなど）の音量を下げてから行ってください。
- ノートパソコンをお使いの場合、USB端子への給電が充分でないために、本機を認識しないことがあります。こうしたときは、別売の専用ACアダプター（型番AD-0002）をお使いください。

パソコンの設定

お使いのパソコンにあわせて設定してください。
設定が済んだら、音楽CDなどを再生してみて、正しく設定できたか試してみましょう。

パソコン設定の手順

① ドライバのインストール（➔22ページ）

② ドライバのインストールを確認する（➔23ページ）

③ オーディオデバイスを確認する（➔24ページ）

INTEC205TXシリーズ以外のオーディオ機器と接続する場合や、CarryOn Music以外のサウンド編集ソフトを使用する場合は、「その他のご利用方法」をご参照ください（➔30〜35ページ）

付属CD-ROMには、各種ソフトウェアおよびチュートリアルで使用するサンプルファイルなどが含まれています。

用語解説

ドライバとは?
パソコンで周辺機器を利用するために組み込まれるソフトウェアのこと。デバイスドライバともいいます。

デバイスとは?
パソコンの周辺機器全般を意味します。

ドライバのインストール

UE-205をはじめてパソコンに接続する際にはドライバのインストールが必要になります。

① **パソコンの電源を入れる**
起動していることを確認してください。

② **USBケーブルをパソコンに接続する**
（➡20ページ）

> **パソコンの画面上に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。**

③ **画面の指示に従ってドライバのインストールを進める**
ドライバは「汎用USBハブ」「USB互換デバイス」「USB Device」「USBオーディオ」の順に読み込ませます。

「汎用USBハブ」、「USB互換デバイス」、「USBオーディオ」のドライバは、お使いのOSのインストールCD-ROMやWindowsシステムのCabsフォルダから読み込ませてください。

「汎用USBハブ」、「USB互換デバイス」を読み込ませた後に「USB Device」と表示されます。指示に従って手順を進めると、ドライバの検索場所を要求されますので、UE-205に同梱のインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして「Driver」フォルダを指定してください。認識に成功すると「UE205DRV Device」と表示されます。

次に「USBオーディオ」のドライバを読み込ませてください。

すべてのドライバが認識されたらインストールは終了します。

ご注意

- ドライバは通常、手順①、②の操作で自動的にインストールされます。
万一「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されないときは、USBケーブルを接続したまま、次の操作をしてください。
① 「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」をクリックする。
② 「デバイスマネージャ」タブをクリックする。
③ 「更新」をクリックする。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。
- Windows 98のバージョンによっては、USBケーブルを、パソコンの他のUSB端子に差し替えると、ドライバの再インストールを要求されることがあります。この場合は、「キャンセル」をクリックして、ドライバインストール時のUSB端子につなぎ直すか、手順に従って、もう一度ドライバをインストールしてください。

ドライバのインストールを確認する

本機を接続した状態で、

① 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

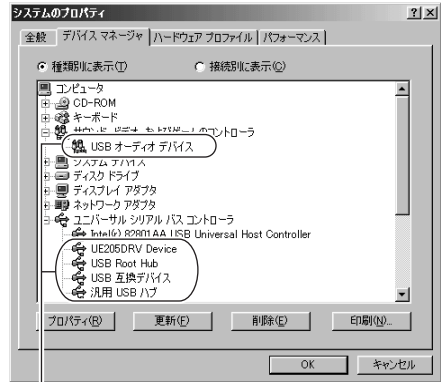
② 「システム」アイコンをダブルクリックする

③ Windows 2000をお使いの場合のみ、「ハードウェア」をクリックする

④ 「デバイスマネージャ」をクリックする

⑤ ダイアログボックスが、次のようになっていることを確認する

- サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラの下の階層にUSBオーディオデバイス（USB Audio Device）があります。
- ユニバーサルシリアルバスコントローラの下の階層にUSBルートハブ（USB Root Hub）、ＵＳＢ互換デバイス（ＵＳＢ複合デバイス）（USB Compatible Device）、汎用USBハブ、UE205DRV Deviceがあります。

Windows 98/98SE/Meをお使いのとき

インストールされているのを確認する

※ ユニバーサルシリアルバスコントローラの欄が「不明なデバイス」になっているときは、USBケーブルをいったん抜き、もう一度接続して、認識させてください。

ご注意

- Windows Meでデバイスマネージャの「USB互換デバイス」と「汎用USBハブ」に緑色の「？」マークが表示されることがありますが、機能や動作については問題ありません。
- USBケーブル接続時やパソコン起動時のUE-205認識に約15秒かかる場合があります。この間は、絶対にアプリケーションの立ち上げなどパソコン上の操作をしないでください。また、パソコンのアプリケーションが動作中に、USBケーブルを抜かないようにしてください。

オーディオデバイスを確認する

① 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

② 「マルチメディア」（または「サウンドとマルチメディア」）アイコンをダブルクリックする

③ 「オーディオ」タブをクリックする

④ 「再生」（または「音の再生」）と「録音」が「USBオーディオデバイス」になっていることを確認する

⑤ 「OK」をクリックする

USBオーディオでは、が点灯しませんが、認識は問題なくおこなわれています。

ご注意

USBケーブルを接続してすぐに「マルチメディア」→「オーディオ」ウィンドウを開くと、優先するデバイスがUSBオーディオデバイスにならないことがあります。接続後はしばらく時間をおいてからウィンドウを開き、確認してください。USBケーブルを接続しなおすときは、「マルチメディア」→「オーディオ」ウィンドウを閉じてから行ってください。

Windows 98/98SEをお使いのとき

確認したら、クリックしてウインドウを閉じる

Windows 2000/Meをお使いのとき

確認したら、クリックしてウインドウを閉じる

リモコンでパソコンを操作

デジタルオーディオソフト「CarryOn Music」（キャリオン・ミュージック）

- **音楽ファイルの作成・管理を手軽に行える統合デジタルオーディオソフト**
  簡単操作で、音楽CDから、話題のMP3ファイルがダイレクトに作成できるだけでなく、WAV・WMAへのエンコードにも対応。高速・高音質のMP3圧縮エンジンの搭載により、通常の録音時間より短い時間で変換できます。

- **録音した曲は、ミュージックライブラリ機能で一括管理。以前から持っていた音楽ファイルも、これからはスマートに管理**
  プレイリスト機能を使えば、好みの曲順で聞けるだけでなく、アーティスト別・アルバム別などに登録して、その日の気分で聞き分けることも可能です。

- **CDDB2（CD情報データベース）にも対応**
  インターネットにアクセスできる環境があれば、音楽CDのタイトル情報を検索・取得できます。もちろん、入力は日本語でも英語でも可能です。

CarryOn Musicの画面

より詳しくは　「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください

用語解説

MP3（MPEG Audio Layer3）ファイルとは?
音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
Windowsの代表的な音楽ファイル形式WAVEなどと比較すると、ファイル容量が1/10程度に圧縮され、音質もほとんど劣化しないのが特長といわれています。

WAVファイルとは?
Windowsで標準的な音楽ファイルの形式。WAVEファイルと同じ。
音声データをサンプリングして、パソコン用のデータとして保存したファイルのことです。

WMA（Windows Media Audio）ファイルとは?
Microsoft社が開発した音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
音楽CD並みの音質と、デジタル著作権を主張できることが特長になっています。

リモコンでパソコンを操作

CarryOn Musicのインストール

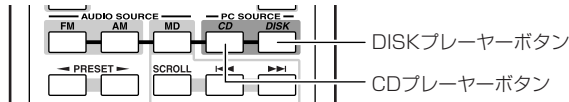
① **CarryOn Musicの取扱説明書を参考にしてパソコンにインストールをする**

インストールが終了して再起動を行うとタスクトレイの中にアイコンが表示されます。このアイコンはUE-205専用リモコンからの受信状況を表示するもので、リモコンからの操作を受信すると赤く点灯します。

リモコンを使ってパソコンの音楽ファイルや音楽CDを聴く

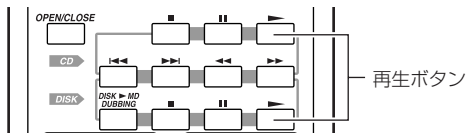
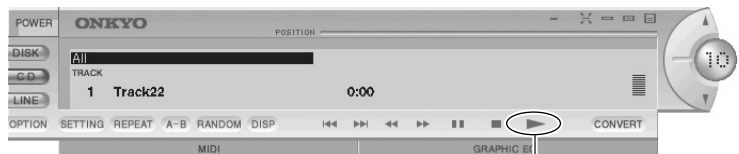
リモコンでPCに関するいずれかのボタンを押してCarryOn Musicを起動します。

① **付属リモコンまたは本機に付属のCarryOn Musicの操作パネルで、CDまたはDISKボタンを押す**

ダイレクトチェンジ機能により、自動的にR-805TXまたはA-905TXの入力がCDR/PCに切り換わります。

CarryOn Music操作パネル

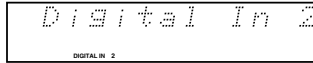
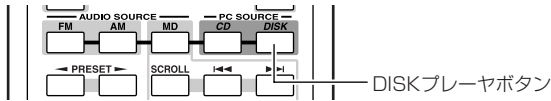
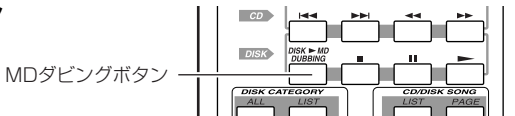
② **パソコンのプレーヤーソフトで音楽ファイルを再生する**

別冊CarryOn Music取扱説明書28ページの「録音した曲を再生する」の操作をしてください。

リモコン

CarryOn Music操作パネル

リモコンを使ってパソコンの音楽ファイルをINTEC205TXシリーズのMDに録音する

① あらかじめCarryOn Musicの取扱説明書を参考にDISKパネルに音楽ファイルを登録する

② MDレコーダーのINPUTをデジタル録音(DIGITAL IN 2)に切り換える

MD-105TXのINPUTボタンを（くり返し）押して、Digital In 2を表示させます。

③ リモコンまたはCarryOn Musicの操作パネルで「DISK」ボタンを押す

④ リモコンのDISK►MD DUBBINGボタンを押してパソコンの音楽ファイルをMDに録音する

■ 再生している曲をMDへ録音（１曲録音）

CarryOn Musicで録音したい曲を再生している間にDISK►MD DUBBINGボタンを押します。自動的に頭出しされ、その１曲がMDに録音されます。録音が終了するとMDは停止してCarryOn Musicはリスト上の次の曲を続けて再生します。

■ グループの曲をまとめてMDへ録音（グループ録音）

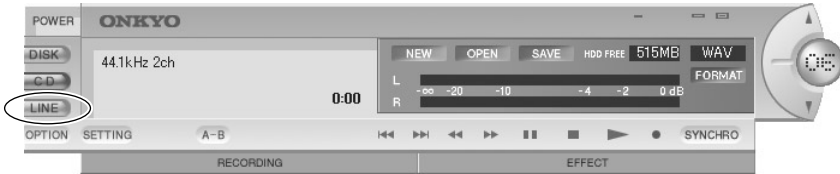
CarryOn Musicで再生を行っている場合は、まず停止ボタンを押してください。

録音したいグループのグループ名（Album名、Playlist名など）をリモコンもしくは操作パネルで指定してDISK►MD DUBBINGボタンを押します。指定したグループの最初から最後の曲までが自動的にMDへ録音されます。録音が終了するとMDもCarryOn Musicも停止します。

ご注意

- 録音するMDの録音可能時間はあらかじめ確認して、録音する音楽が録音可能時間内におさまるように指定してください。
- MDレコーダーの録音についての詳細は、MDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

CarryOn Musicを使ってINTEC205TXシリーズの音声をパソコンに録音する

① CarryOn Musicを起動し、LINEパネルに切り換える

② RECORDINGサブパネルを開き、録音するINTEC205TXシリーズの入力ソースを選択する

アナログの場合：
インジケーターで、レベルを確認して、Rec Levelを調整します。
デジタルの場合：
Rec Levelの調整は不要です。

※RECORDINGサブパネルの設定については、29ページをご参照ください。

③ SYNCHROボタンを押してシンクロ（入力ソースの再生に同期して録音を開始する機能）をONにし、録音ボタンを押す

④ INTEC205TXシリーズの入力ソース（音源）を再生する
INTEC205TXシリーズの再生に同期して、録音が始まります。

RECORDING サブパネルの設定

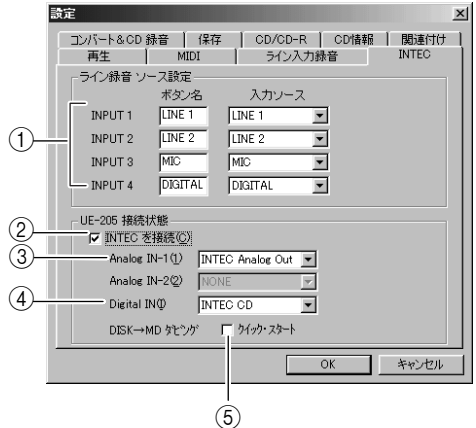
SETTINGをクリックし、「INTEC」タブを開きます。

① 「ライン録音ソース設定」
RECORDING サブパネルのプリセットボタンの設定を変更できます。

② 「INTECを接続」
チェックした状態で、プリセットボタンに加えINTEC205TXシリーズの入力ソース選択ボタンが表示されます。

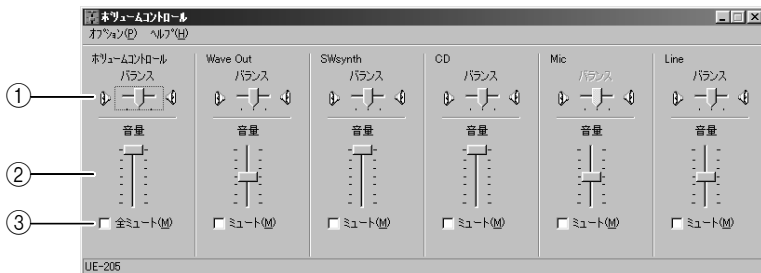
③ 「Analog IN」
INTEC205TXシリーズからLINE入力する端子の設定をします。通常はAnalog IN-1にINTEC Analog Outを設定し、INTEC205TXシリーズを本機のLINE1端子に接続してください。

④ 「Digital IN」
INTEC205TXシリーズのCDプレーヤからの入力を、デジタル／アナログのいずれかに切り換えます。INTEC CDが選択されていると、デジタル入力になります。

⑤ 「クイックスタート」
DISKからMDのダビング時に、MDの録音が開始される時間を短縮します。接続するMDレコーダーによっては、曲の先頭が録音されないことがあます。このようなときは、チェックマークをはずしてご使用ください。このときに、無録音部分が数秒記録される場合があります。

ご注意

- CD並みの音質（サンプリングレート44.1kHz、16ビット、ステレオ）で録音するには、WAVEファイルで1分あたり約10MB、MP3やWMAファイルで約1MBの容量が必要です。録音するときは、ハードディスクに充分な空きがあることを確認してから録音を始めてください。
- 録音・再生時は、パソコンのCPUに大きな負荷がかかります。特に録音時は、音切れ・音飛びを防ぐために、他のアプリケーションを終了してから、録音されることをお勧めします。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

その他のご利用方法

ボリュームコントロール（再生ミキサー）の使い方

タスクバーの アイコンを、ダブルクリックする

ボリュームコントロールパネルが表示されます。

ヒント

タスクバーの アイコンを右クリックして表示されるメニューから「再生ミキサー」を選択することもできます。

① バランス

左右の出力バランスを変更します。

② 音量スライダー

音量を調整します。

③ ミュート

再生中の音声を消します。

ヒント

本機のMIC（マイク）入力はモノラルのため、バランスの調節は不要です。

■ 再生専用モードについて

CPU処理を再生側に集中させることで高品位な再生を楽しめます。

ボリュームコントロールの「オプション」→「プロパティ」を開いて再生専用チェックボックスにチェックマークを入れます。

ご注意

録音中は、絶対に再生専用モードに切り換えないでください。

レコーディングコントロール（録音ミキサー）の使い方

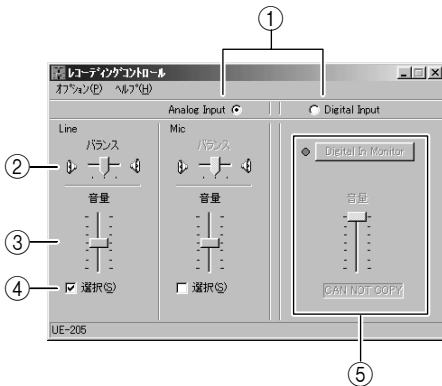
① **タスクバーの アイコンを、ダブルクリックする**

② **ボリュームコントロールの「オプション」→「プロパティ」を開く**

③ **「録音」をクリックし「OK」ボタンを押す**

レコーディングコントロールが表示されます。

- タスクバーのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「録音ミキサー」を選択することもできます。
- デジタルアウト端子から出力される音声は、インプットセレクターに連動して次のように目的の音声を出力させることができます。

インプットセレクター	デジタルアウトから出力される音声
デジタルイン	デジタル入力端子からの音声
アナログイン	パソコンの音声（WAVE、MP3などのサウンドファイル、CD-ROMドライブの音楽CD）

① **Analog Input/Digital Input**

入力ソースにあわせて、アナログ／デジタルか選択します。

② **バランス**

左右の入力バランスを変更します。

③ **音量スライダー**

録音レベルを変更します。

④ **選択する**

録音する音声を選択します。

⑤ **Digital In Monitor**

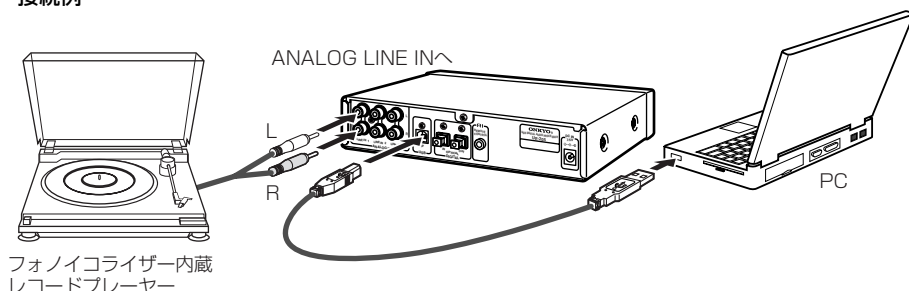
デジタル入力の際、音声をモニターします。

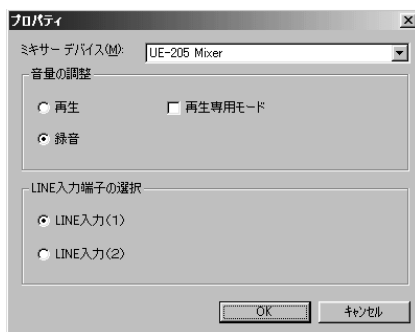
ご注意

アナログインプット/デジタルインプットの切り換えをする場合は、アプリケーションソフトウェアからの音声出力をいったん停止してから行ってください。

LINE入力やマイクのアナログ音声をパソコンに録音する

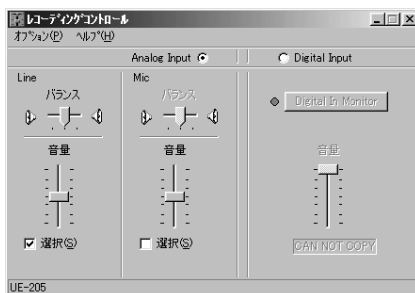
① アナログ再生させる機器をUE-205に接続する

接続例

② タスクバーの アイコンを、ダブルクリックする

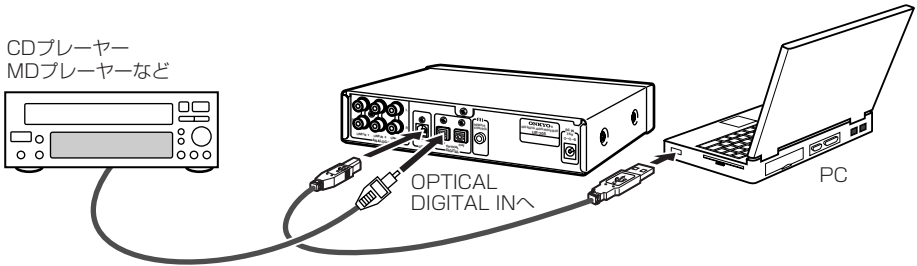
③ 「オプション」→「プロパティ」で「録音」をクリックし、接続された方のLINE入力端子を選択して「OK」ボタンを押す

④ 「Analog Input」を選択する

⑤ レコーディングコントロールで、「Line」「Mic」の中から録音するソースの「選択」をチェックし、録音しない音声の「選択」チェックをはずす

⑥ 入力ソース（音源）を再生しながら、サウンド編集ソフトで音声レベルを確認し、レコーディングコントロールパネルで録音レベルを調節する

⑦ サウンド編集ソフトで、録音する

CDなどのデジタル音声をパソコンに録音する

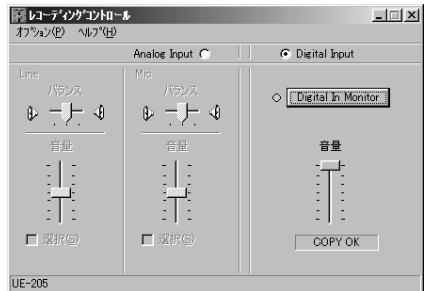
① デジタル再生させる機器をUE-205に接続する

接続例

② タスクバーの アイコンを、ダブルクリックする

③ 「オプション」→「プロパティ」で「録音」をクリックし「OK」ボタンを押す

④ 「Digital Input」を選択する

⑤ 録音中の音声をモニターする場合は、「Digital In Monitor」をクリックする

⑥ 入力ソース（音源）の再生を始め、サウンド編集ソフトで録音する

デジタルインモニター機能について

DIGITAL IN端子からの録音音声を聞くときは、「Digital In Monitor」ボタンを押します。
音量スライダーを動かすことで、モニター音量の調節ができますが、モニター中はDIGITAL IN端子からの音声以外は出力されません。

音楽CDを再生するための設定をする

Windows 98/98SEをお使いのとき
本機を接続した状態で、

① 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
② 「マルチメディア」アイコンをダブルクリックして、「音楽CD」タブをクリックする
③ 音楽CDを再生するCD-ROMドライブを選ぶ
④ 「このCD-ROMデバイスで……」にチェックマークを入れる
⑤ 「OK」をクリックする

Windows 2000/Meをお使いのとき
本機を接続した状態で、

① 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を開く
② 「システム」アイコンをダブルクリックする
③ Windows 2000をお使いの場合のみ、「ハードウェア」をクリックする
④ 「デバイスマネージャ」をクリックする
⑤ 音楽CDを再生するCD-ROMドライブをダブルクリックし、「プロパティ」タブを開く
⑥ 「このCD-ROMデバイスで......」にチェックマークを入れる
⑦ 「OK」をクリックする

お使いのCD-ROMドライブがデジタル出力に対応していないときは、「このCD-ROMデバイスで......」にチェックマークを入れられません。また、「このCD-ROMデバイスで......」にチェックマークを入れられないときは、USBケーブルの接続をもう一度確認してください。

音楽CDを再生する

① CD-ROMドライブに音楽CDをセットする

② 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「CDプレーヤー」（Windows Meの場合は「Windows Media Player」）をクリックする

③ 「トラック」から好みの曲を選び、「▶」をクリックする

選んだ曲が再生されます。

Windows 98/98SEをお使いのとき

クリックして曲を選び、「▶」をクリックすると、再生が始まる

Windows 2000をお使いのとき

クリックして曲を選び、「▷」をクリックすると、再生が始まる

WAVEファイルを再生する

① CD-ROMドライブに付属CD-ROMをセットする

② 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「Windows Media Player」をクリックする

③ 「ファイル」→「開く」をクリックし、「参照」をクリックする

「開く」ダイアログボックスから、CD-ROMを選択します。

Media Player 7をお使いの場合は、「参照」をクリックする必要はありません。「開く」をクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

④ CD-ROMドライブのSample Waveフォルダを開き、「Sample1.wav」→「開く」をクリックする

自動的にWAVEファイルが再生されます。

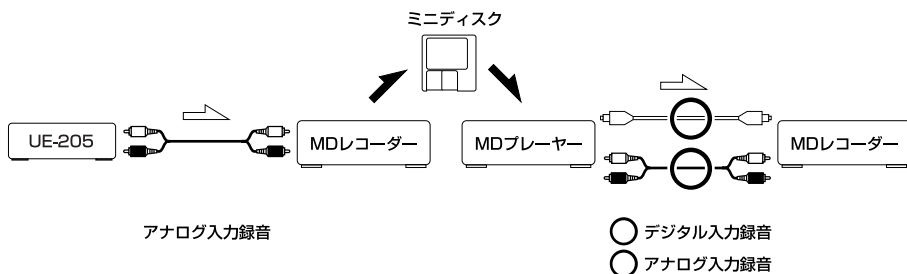
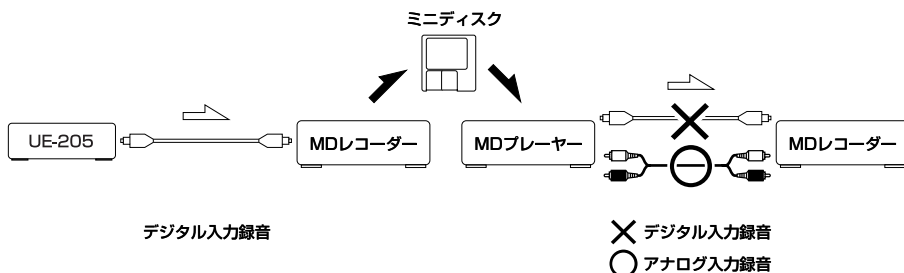
コピーガードシステム

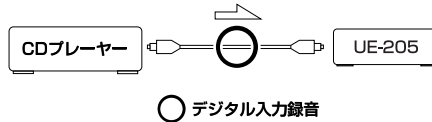
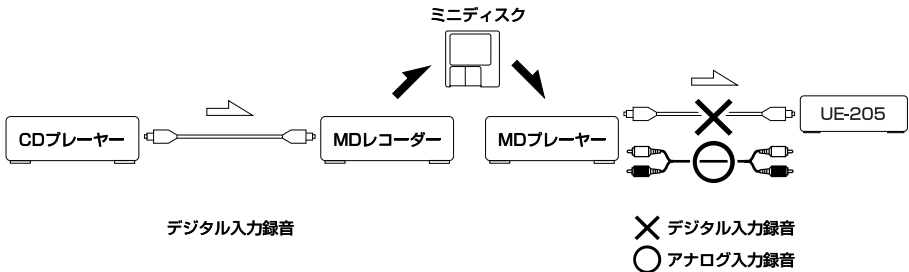
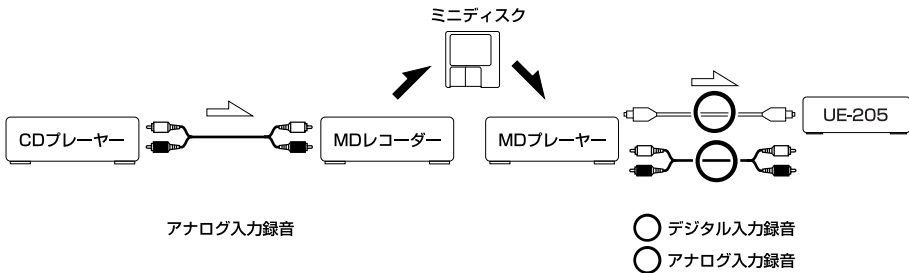
コピーガードシステムについて

本機のデジタル入力はコピーガードシステムによって保護されています。

このシステムはデジタル信号をデジタル信号のまま録音することが可能ですが、後述の制限事項があります。この制限事項は著作権の保護を目的としており、著作権を侵害するような動作を制限するために設けられています。

1. **本機のデジタル出力からMDやDATなどにデジタル録音した信号は、デジタル信号のまま他のメディアに録音することはできません。**

 • 本機に記録されている音声データをいったんアナログ信号として録音したMDからデジタル信号としてMDレコーダーに入力することは可能です。

 • 本機からデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、MDプレーヤーへデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。

**2. CDやMD、DATなどデジタル信号で音声データを記録しているメディアから本機のデジタル入力端子に直接デジタル信号を入力することができます。
ただし、一度デジタル信号からデジタル信号のまま録音された音声データを本機に入力した場合、録音はできません。また、本機を通してのモニタリングもできません。**

- CDから直接デジタル信号で入力された音声データは、本機へデジタル入力することができ、録音・モニタリングも可能です。

- CDからデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、本機へデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。

- CDに記録されている音声データをいったんアナログ信号として録音したMDからデジタル信号として本機に入力することは可能です。

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

故障?と思ったら

症状	原因	処置
機器を認識しない。	• 接続が不完全。 • 接続しているハブに問題がある。 • デバイスの一部を認識しない。 • パソコンからの電源供給が足りない。	• 「接続」を参照（20ページ）して、USBケーブルを通じて機器をパソコンに確実に接続してください。 • ハブを経由して接続している場合は、ハブが動作しているかどうかをハブの取扱説明書にしたがって確認してください。 • USBケーブルを抜き、10秒ほど待って再接続してみてください。システムが不安定になっている場合は再起動を試してください。 • 別売の専用ACアダプター（型番：AD-0002）をお使いください。
アナログ/デジタル切り換え時にパソコンが不安定になる。	• 音声出力を行ったまま切り換えを行った。 • 録音レベルモニターを表示させたまま切り換えを行った。	• Windowsの仕様上、音声出力を行ったまま切り換えを行うと、Windowsが不安定になる可能性があります。アナログ/デジタルを切り換える時は、音声出力を停止してください。 • アナログ/デジタルを切り換える時は、必ず録音レベルモニター機能を停止させてから切り換えを行ってください。
音声が出ない。	• ミュートされている。 • 出力レベルが小さい。 • 他の音声出力デバイスが使用されている。 • デジタルインモニター機能を使用している。 • 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• タスクバーのアイコンをダブルクリックしてボリュームコントロールを開き、ミュートのチェックをはずしてください。 • タスクバーのアイコンをダブルクリックしてボリュームコントロールを開き、ボリュームを調整してください。 • コントロールパネルから「マルチメディアのプロパティ」を開き、「優先するデバイス」として「USBオーディオデバイス」を選択してください。 • デジタル入力モード時にデジタルインモニター機能を使用していると、WAVEやアナログ入力音声は出力されません。録音のミキサーパネルを開き、デジタルインモニター機能をオフにしてください。 • LINE OUT端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているか確認してください。外部機器に問題がない場合はケーブルを確認してださい。

症状	原因	処置
内蔵スピーカーから音声が出ない。	• USBオーディオデバイスが優先されている。	• USBオーディオデバイスが優先されているため、内蔵スピーカーからは音声が出力されません。内蔵スピーカーから一時的に音声を出力させるためには、本機からUSBケーブルを抜いてください。内蔵スピーカーのご使用後はUSBケーブルを再度接続してください。
ヘッドホンが聞こえない。	• ヘッドホンボリュームが下がっている。	• ヘッドホンレベル調整つまみで最適な音量に調整してください。それでも聞こえない場合は、「音が出ない」の項を参照してください。
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない。 • 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• タスクバーのアイコンをダブルクリックして、ボリュームコントロールを開きバランスを調整してください。 • 接続している外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない。	• システムがCD-ROMドライブからのデジタル音声ストリームに対応していない場合、USB経由ではCD-ROMドライブから出力された音声は出力されません。このような場合は、CD-ROMドライブの音声出力（ヘッドホン出力等）をライン入力に接続し、音量を適当な値に調節してください。
ゲームのBGMが出力されない。	• BGMにCD出力が使用されている。	• 「CD-ROMドライブからの音声が出力されない」の項目を参照してください。
録音できない。	• 他の音声入力デバイスが使用されている 。 • 再生専用モードになっている。 • ライン入力の接続が不完全。 • 外部機器から音声が出力されていない。 • LINEが選択されていない。またはライン入力ボリュームが小さい。 • レコードプレーヤーを直接接続している。	• コントロールパネルの「マルチメディアのプロパティ」を開き「録音」の「優先するデバイス」から「USBオーディオデバイス」を選択してください。それでも録音できない時は「優先するデバイスのみを使用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。 • ミキサーのプロパティを開いて再生専用モードのチェックをはずしてください。 • 外部からライン入力に確実に接続してください。外部機器に問題がない場合はケーブルをご確認ください。 • 外部機器から音声が出力されているかどうか確認してください。 • CarryOn MusicのLINEパネルからRECORDINGサブパネルを開き、LINE 1またはLINE 2を選択したのち、REC LEVELを調整してください。 • レコードプレーヤーを本機に直接接続することはできません。お手持ちのレコードプレーヤーおよびカートリッジに合わせたフォノイコライザーを通して接続してください。

故障?と思ったら

症状	原因	処置
録音できない。 （つづき）	• マイク録音のときマイクの接続が不完全。	• マイクを確実に接続してください。
	• マイク録音のときマイクの適合性に問題がある。	• 標準プラグのマイクをご使用ください。
	• マイク録音のときMICが選択されていない。またはマイク入力レベルが下がっている。	• CarryOn MusicのLINEパネルからRECORDINGサブパネルを開き、MICを選択したのち、REC LEVELを調整してください。
	• アナログ録音のときデジタルインモードになっている。	• デジタルインモードではアナログ入力ができません。録音のミキサーパネルを開き、アナログインモードにしてください。
	• デジタル録音のときアナログインモードになっている。	• アナログインモードの時、デジタル入力はできません。CarryOn MusicのLINEパネルからRECORDINGサブパネルを開き、DIGITALを選択してください。または録音のミキサーパネルを開き、デジタルインモードにしてください。
	• デジタル録音のとき入力信号がコピーガードされている。	• 本機のデジタル入力はコピーガードシステムにより保護されているため、コピー不可に設定されているデジタル信号は録音できません。詳しくは36、37ページを参照してください。
	• デジタル録音のとき外部機器との接続に問題がある。	• 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合は、ケーブルをお確かめください。
デジタル出力が外部機器に入力されない。	• 外部機器のサンプリング周波数が適合していない。	• デジタル出力のサンプリング周波数は44.1kHzです。お手持ちの機器の取扱説明書を参照して、出力サンプリング周波数に対応しているかどうかお確かめください。
	• 外部機器との接続に問題がある。	• 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合はケーブルをお確かめください。
	• デジタル出力が許可されていない。	• コピー不可に設定されているデジタル信号は、外部機器にデジタル出力できません。

症状	原因	処置
音が途切れる。	• 音声出力、入力中に負荷のかかる作業を行っている。 • 音声出力、入力中に他のUSB機器を抜き差しした。 • CPUの処理が再生に追いついていない。	• 特に録音をされる場合には、CPUに負担のかかる作業は控えてください。 • 音声の再生・録音中に他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。 • CPUが推奨スペックを満たしていない場合は、期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でも、CPUが非常に高負荷の状態である場合には音が途切れることがあります。この場合は、他のアプリケーションをすべて終了させてください。 • 再生専用モード（30ページ参照）にしてみてください。 • 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」を開き、ディスクドライブの中から音楽ファイルを保存しているハードディスクとCD-ROMドライブをダブルクリックしてプロパティを表示し、設定タブをクリックして、オプションのDMAチェックボックスにチェックを入れてください。
雑音が多い。	• テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。 • マイクから雑音が入力されている。 • 各入出力端子の接続が不完全。	• テレビなどから十分に離して置いてください。 • マイクから雑音を拾うことがありますので、マイクを使用しないときは、再生ミキサーを開いてMICのミュートにチェックを入れてください。 • 本書19ページを参照して確実に接続してください。
動作確認インジケーターが速く点滅し、動作しない。	• 外部のノイズなどによりマイクロコンピューターが誤動作した。	• USBケーブルを抜き、10秒程度待ってから、再度USBケーブルを接続してください。2、3回繰り返しても同じ症状が出る場合、および頻繁に起こる場合は、43ページ記載のカスタマーセンターへご相談ください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、USBケーブルを抜いて、約5秒後に改めてUSBケーブルを接続してください。

製品の故障により、正常に録音ができなかったことによって生じた損害（CDのレンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をされるときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

主な仕様

型番	UE-205
形式	USBデジタルオーディオプロセッサー
接続方式	USB (Universal Serial Bus Ver. 1.1)
サンプリング周波数	
デジタルIN	32/44.1/48kHz 対応
デジタルOUT	44.1kHz
周波数特性	0.3Hz～20kHz (+0/－0.5dB、LINE OUT)
SN比	100dB (A-Filter)
全高調波歪率	0.002 % (1kHz、0dB)
出力レベル	2.0Vrms
ライン入力レベル	2.0Vrms
マイク入力感度	2.5mVrms
電源	USB供給、別売DC7.5V（専用ACアダプター）
消費電流	350mA
外形寸法（幅×高さ×奥行）	205 x 46.7 x 165mm
質量	0.7kg

※　仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社カスタマーセンターにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（UE-205）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社カスタマーセンターまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、 または当社カスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

電話でのお問い合わせ：
ナビダイヤル 0570-01-8111
(全国どこからでも市内料金で通話いただけます)
または 072-831-8111(携帯電話、PHS から)

サポート時間：月～金曜日
（祝日および当社指定休日を除く）
9:30 ～ 17:30

FAX でのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ：
〒 572-8540
大阪府寝屋川市日新町2番1号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

E-mail でのお問い合わせ：vox@onkyo.co.jp

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://www.onkyo.co.jp/
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

ご購入店名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Tel.　　　(　　)

メモ：